



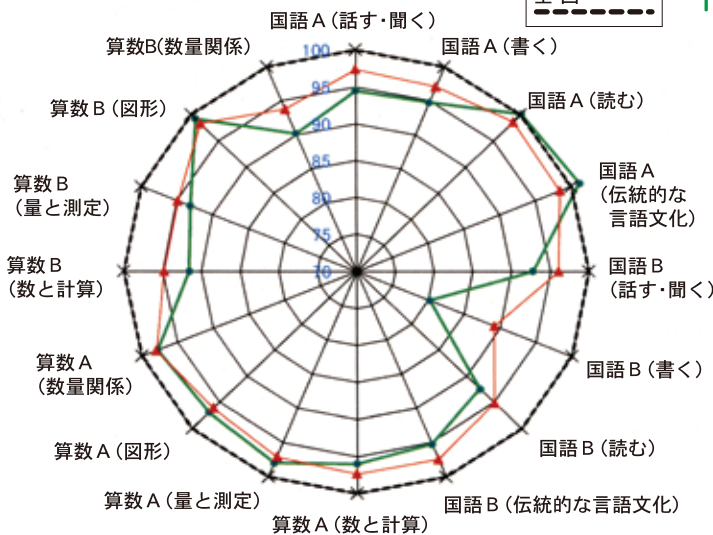
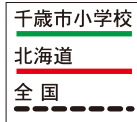
「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

平成26年度「全国学力・学習状況調査」の結果

今回は、調査結果をできるだけ細かくわかりやすく示すため、平均正答率と平均正答数の数値を公表します

- 調査対象…小学校第6学年及び中学校第3学年 小学校16校 941名 中学校8校 815名(北進小中学校を除く全校)
- 調査の内容…教科に関する調査(国語、算数・数学)、生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙調査、学校の教育活動や教育課程に関する学校質問紙調査
- 調査実施日…平成26年 4月22日(火)

【小学校 教科全体】



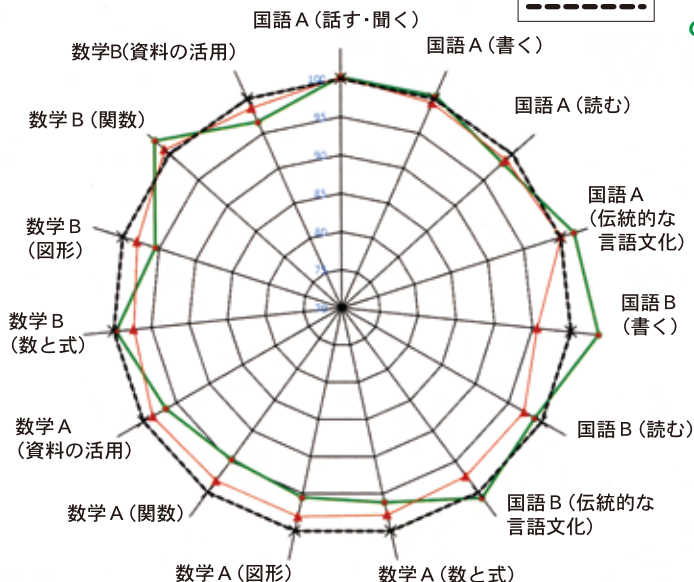
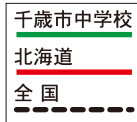
小学校全体では、昨年度に比較し向上がみられ、全国と比較すると4.3ポイントの差から2.7ポイントの差に縮まりました。

小学校教科全体	平均正答率	
	平成26年度	平成25年度
千歳市	63.5%	57.6%
北海道	63.9%	58.9%
全国	66.2%	61.9%
全道との比較	同様	ほぼ同様(下位)
全国との比較	ほぼ同様(下位)	やや低い

国語Aは、0.5ポイント全国を上回るなど、これまでの取組の成果が表れています。基礎を活用した問題の国語B・算数Bについては、引き続き課題が残りました。正答した問題数は、全国との差が国語Bで0.4問、算数Bで0.6問とごくわずかな差ですが、全国を目標に改善が必要です。

		国語A	国語B	算数A	算数B
		(15問)	(10問)	(17問)	(13問)
平均正答数(問)	千歳市	11.0	5.1	12.9	7.0
	北海道	10.8	5.3	12.9	7.2
	全国	10.9	5.5	13.3	7.6
平均正答率(%)	千歳市	73.4	51.4	75.7	53.6
	北海道	71.8	52.9	75.8	55.2
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2

【中学校 教科全体】



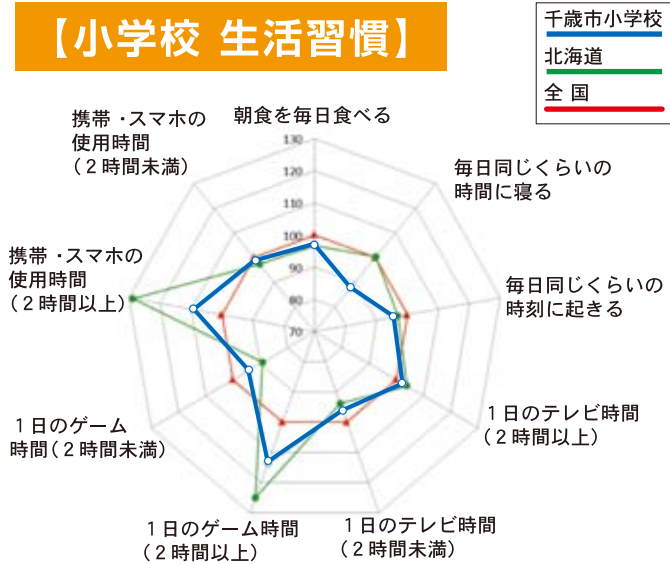
中学校全体では、全国を0.6ポイント下回りましたが、昨年度2.5ポイント差があったことと比較すると大きく向上しました。

中学校教科全体	平均正答率	
	平成26年度	平成25年度
千歳市	63.8%	59.8%
北海道	63.7%	60.9%
全国	64.4%	62.3%
全道との比較	同様	ほぼ同様(下位)
全国との比較	同様	ほぼ同様(下位)

国語Aは、全国を0.8ポイント上回り、国語B・算数Bは、全国との差を1ポイント未満としました。特に国語Bの「書くこと」は全国を1.4ポイントも上回っています。正答した問題数は、国語B・数学Bは全国と同数でしたが、数学Aでは1.1問の差があり、数学の基礎・基本的な力を身につけることが課題です。

		国語A	国語B	数学A	数学B
		(32問)	(9問)	(36問)	(15問)
平均正答数(問)	千歳市	25.7	4.6	23.2	9.0
	北海道	25.4	4.5	23.8	8.9
	全国	25.4	4.6	24.3	9.0
平均正答率(%)	千歳市	80.2	50.6	64.5	59.7
	北海道	79.4	49.9	66.0	59.4
	全国	79.4	51.0	67.4	59.8

【小学校 生活習慣】

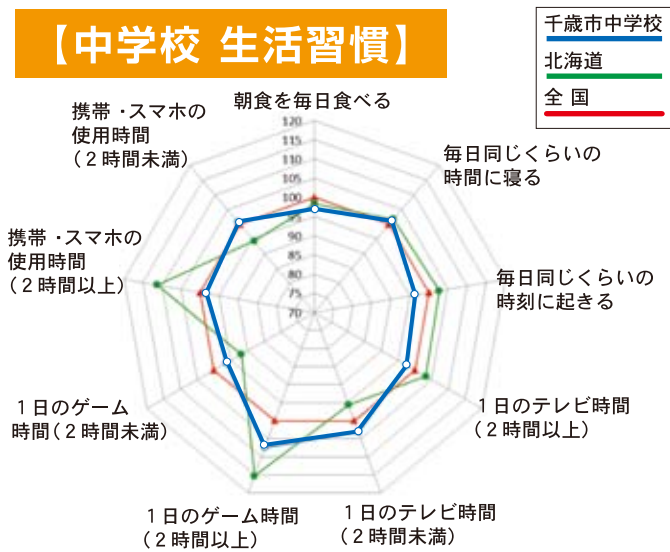


ゲームをする時間や、携帯電話・スマートフォンを使用する時間が長い！

小学生の生活習慣は、起床時刻や朝食の摂取が全国と比較し、ほぼ同様ですが、就寝時刻については、不規則な状況が見られます。一方、家庭で2時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が全国を上回り、テレビ、ゲームに費やす時間も2時間未満の割合に比べ2時間以上の割合が多いことから、テレビを見たり、ゲームをしたりする時間が長いという状況が見られます。

児童に規則正しい生活習慣を身につけさせるうえで、時間の目安を決めて子どもの「生活リズム」を整えることが重要であり、学校と家庭との連携協力を一層強化して取り組む必要があります。

【中学校 生活習慣】



起床時刻が不規則で、ゲームをする時間が全国を大きく上回っている！

中学生の生活習慣は、朝食の摂取と就寝時刻が全国と比較し、ほぼ同様ですが、起床時刻については、不規則な状況が見られます。一方、テレビの視聴時間は、全国とほぼ同様となっており、改善が見られますが、ゲームに費やす時間は、2時間以上と回答した生徒の割合が全国を大きく上回っており、依然として長い状況です。携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットをする時間は全国とほぼ同様の状況です。

学校が家庭と連携して「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につけさせるとともに、携帯電話やスマートフォンを使用する時間の目安を決めて、生徒の生活リズムを整えることが必要です。

～よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート～ ハイパーQU検査を実施しました



ハイパーQU検査とは？

「ハイパーQU検査」とは、子供たちの学校生活における意欲や満足度を調べ、よりよい学級集団づくり、学校づくりを進めるために、毎日の学校生活のようすや友達との関係について、児童生徒一人ひとりにアンケート調査を行うものです。よりよい学級集団づくりを進めることによって児童生徒個々の自己有用感(自分のよさ)を高め、いじめ・不登校などを未然に防止したり、支援の必要な児童生徒を把握して実際の指導に生かしながら、学力向上に役立てることを目的としています。

千歳市では今年度より、小学校では3年生から6年生まで、中学校では1年生と2年生を対象に実施しています。

どのような効果があるの？

この調査結果を各学級や学校全体で活用することにより、児童生徒一人ひとりの悩みや学級全体の課題に適切な対応を図ることができます。

「個別の指導」や「学級全体」への指導に役立ってます。



- ・望ましい集団の在り方を学ぶ
- ・お互いのよさを認め合う学級づくり
- ・「友達へのかかわり方」を考える
- ・自分のよさ(自己有用感)を感じる

アンケート結果から

学級での集団生活に満足している児童生徒の割合について、全国平均が37%～41%であるのに対し、千歳市では45%～54%とどの学年においても全国平均を上回りました。

千歳市の子どもたちは学級・学校生活に満足している傾向が強く、望ましい状態であるといえます。

あなたが失敗したときに、クラスの人からはげましてくれることがありますか？

何か失敗したときに「ごめんなさい」と言っていますか？

あなたのクラスの人たちは、あなたに声をかけたり、親切にしてくれたりしてくれたりしますか？

学校の特色ある取組を紹介します！

東小学校

田植え学習 ～豊かな心情を育む～



田植え学習の様子



パステルシャインアート



和太鼓体験演奏



整備の様子



パークゴルフ大会の様子



北陽小学校

土曜日の楽校の取組 ～子どもたちと保護者・地域が連携して～



北陽小学校では、PTAの特別委員会の事業として、児童、保護者、地域の方々の参加による「土曜日の楽校（がっこう）」という活動を行っています。

今年度は、これまでに、赤松林太郎さんによるピアノコンサート、スナッグゴルフ体験、パステルシャインアート、和太鼓演奏を実施し、今後はクリスマスおはなし会、音楽コンサート、ひな祭りコンサート、ごっこ遊びに挑戦を予定しており、子どもたちは、とても楽しみにしています。

保護者や地域の方々の協力により、健やかな北陽っ子が育まれています。



駒里小中学校

のびのびタイム ～パークゴルフで「駒里らしさ」を共有～



駒里小中学校には、児童生徒、保護者、教職員と一緒に活動する「のびのびタイム」の時間があります。

「のびのびタイム」では、春に児童生徒全員で整備した校内のパークゴルフ場で、8月下旬にパークゴルフ大会を開催しています。

自分たちで協力して整備したパークゴルフ場で、団体戦や個人戦を行う「のびのびタイム」を通じ、小学校、中学校、保護者が一体となった「駒里らしさ」を全員で共有しています。

家庭学習の時間が依然として少ない！

平成26年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の結果では、「学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）1日あたりどれくらいの時間、勉強していますか」という質問に対し、「1時間以上勉強している」小学生の割合は、全国が62.0%で、千歳市は48.6%となっています。中学生についても、「2時間以上勉強している」生徒の割合は、全国が35.1%で、千歳市は27.5%、その差は7.6%となっており、昨年度よりも努力の跡が見られますが、依然として家庭学習の時間が全国・全道に比べて少ない状況です。また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日あたり「2時間以上、3時間より少ない」と回答した小学生は昨年より少なく（昨年12.4%、今年9.9%）、全国との差も広がっています。一方、中学生は、昨年度よりも増加しており（昨年18.7%、今年21.3%）、全国との差は縮まっています。

家庭学習には、保護者の協力が必要です。子どもたちが毎日机に向かう習慣づくりを粘り強く行う必要があります。



とぴっくす

千歳市民文化センターの愛称が『北ガス文化ホール』に決定しました！

ネーミングライツとは、市の施設に企業名や商品名などをつけた愛称を付与し、代わりに、スポンサー企業からネーミングライツ料を得るもので、企業の社会貢献や広告効果、施設のPR、財源確保などのメリットがあります。



ダイナックス アリーナ(スポーツセンター)に続いて、ネーミングライツ第2弾として、市民文化センターのスポンサー企業を募集した結果、「北海道瓦斯株式会社」が権利を取得し、10月1日から「北ガス文化ホール」の愛称がスタートしました。

契約は5年間で、年間100万円のネーミングライツ料は、市の文化振興などに活用します。

第19回「ふるさとポケット」を開催しました！

9月21日に青葉公園で「生涯学習によるまちづくり」を目的とした「ふるさとポケット」を開催しました。

会場では、市内小学校1年生から3年生が描いた絵画717枚が来場者の目を楽しませていました。また、開会式では、入選及び準入選となった児童4名の表彰式を行いました。



ふるさとポケットの様子



左 入選 末広小2年 澤田刀栄くん 左中 準入選 末広小2年 上野結さん
右中 準入選 末広小3年 大野風花さん 右 準入選 向陽台小3年 酒田優菜さん

東千歳中学校の卒業生が千歳市民文化奨励賞を受賞しました！！

東千歳中卒業生の福田真子さんが千歳市民文化奨励賞を受賞しました。福田さんは、東千歳中在籍時の平成25年12月に「平成26年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」において、全国の中学生の作品26,408点の中から、応募作品「森の循環」が入選し、「国土緑化推進機構理事長賞」を受賞しました。



作品「森の循環」

富丘中学校の吹奏楽部が東日本大会で金賞を受賞しました！！



10月11日に群馬県前橋市のベイシア文化ホールで開催された第14回東日本学校吹奏楽大会で富丘中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。

また、13日に北ガス文化ホール(市民文化センター)で開催された第9回定期演奏会では、その実力を市民に披露し、満員となった会場全体を大きな感動で包みました。



富丘中学校吹奏楽部の皆さん

信濃小学校 わたしたちの単P活動

信濃小PTAでは、PTA会員全員が諸活動に1つ以上参加することで、PTAに対する意識の高揚と教育環境の向上を図っています。

「クラス役員はできないけど、ボランティアなら・・・」という会員を募って、環境整備作業、運動会席取りボランティア、運動会終了後の校舎内トイレ清掃ボランティア、図書館整理作業お手伝い、ベルマークボランティアに数多くの会員が熱心に取り組んでいます。



給食配膳員 学校を支える人たち

千歳市内の小学校14校、中学校7校に、学校給食配膳員42名が配置されています。

毎日、学校に届けられる給食を、児童生徒の給食時間に間に合うよう、配膳室でクラスごとに分け、給食



終了後は、食器などを給食センターに返却する作業を行っています。

食器カバーやタオルの洗濯、配膳室の清掃を毎日行うなど、衛生面に細心の注意を払いながら、児童生徒が毎日楽しい給食時間を送れるよう頑張っています。



編集・発行 千歳市教育委員会(教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 24-0819(直通)

■FAX: 27-3743

■e-mail: kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL: http://www.city.chitose.hokkaido.jp/